

今を未来に

1. コロナ禍における女子児童への精神的負担軽減について

本校では、コロナ禍における女子児童への精神的な負担軽減のために、保健室に常時、生理用ナプキンや下着を用意しております。もし、生理用品が手元に無く、困った時は、保健室へ相談に行くようにお子様にお伝えください。

その他にも、小学校の保健領域や宿泊学習（修学旅行や自然教室）の事前指導においても、思春期に起きる体の変化や月経時の対処方法など、指導や支援を行っております。お子様の体や心の様子で、心配なことや気になることなどありましたら、保健室へ是非ご相談ください。

2. 状況に応じたマスクの着用について

今年の2月には、大阪府高槻市において、小学校5年生の児童が体育科の授業後、亡くなるという痛ましい出来事がありました。本校では、原則としてマスクの着用をお願いしているところですが、体育科の授業や登下校時には、熱中症の恐れがあり、身体的距離が十分確保できる等、子どもたちの様子や授業の内容によっては、マスクを外しても良いという臨機応変な指導を併せて行っているところです。

6月17日付けで配布した、『学校における熱中症対策について（お知らせとお願い）』を再度お読みいただき、お子様の健康と安全を守るために、熱中症対策の本校の取り組みについてご理解とご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

3. 延期になっていた『緊急時の児童引き渡し訓練』について

『三重県まん延防止等重点措置』の発令に伴い、延期になっていた『緊急時の児童引き渡し訓練』を9月8日（水）に実施いたします。詳しくは、6月29日（火）配布の『緊急時の児童引き渡し訓練についてのお知らせ』ならびに、5月18日（火）配布の学校通信『今を未来に（第7号）』をよくお読みいただき、参考にさせていただきたいと思っております。

日本では、2017年から4年連続で大きな水害が全国規模で発生し、多くの尊い人命が失われています。本格的な台風シーズンに入る前に、『緊急時の児童引き渡し訓練』を執り行い、万が一に備え、大切なお子様を安全・安心に保護者の皆さんに引き渡せるように訓練を進めてまいります。お仕事で大変忙しいとは思いますが、万が一を想定して訓練にご協力いただきますよう重ねてお願いします。

4. 伊勢茶の配布について

本県は、お茶の生産量が全国第3位という実績を誇っており、全国的にお茶の産地として広く知られています。そこで、県内産のお茶の消費拡大を図る取り組みとして、7月中旬ごろJA（全農みえ）さんから伊勢茶紙パック（250ml）を無料でいただくことになりました。伊勢茶紙パックが届き次第、各児童に2本ずつ持ち帰っていただきます。

ご家庭で賞味期限をご確認のうえ、お早めにお飲みください。伊勢茶紙パックをご提供いただいた、JA（全農みえ）さんに心からお礼を申し上げます。

5. 自然教室（5年生）に参加して

6月24日（木）から6月25日（金）にかけて、水沢にある四日市市少年自然の家（西武造園運営）で一泊二日の自然教室を実施しました。

1日目の午前中は、施設の周辺でオリエンテーリングを行いました。各班は、渡された地図を頼りに、各ポイントを回り、そこでクイズに答えて最終ゴールに向かいました。途中、ヤマビルが発生しているハプニングがありましたが、班員どうしがうまく協力して対応している姿がありました。

施設内で昼食をとった後は、大門池に移動して指導員からライフジャケットの着脱やカヤックの乗り方を教えてもらい、その後、池に入りカヤックを楽しみました。最初は、バランスが取れず悪戦苦闘していましたが、徐々に慣れてうまくカヤックに乗れるようになりました。

カヤックの後は、体育館下のピロティで、焼スギ体験をしました。児童がガスバーナーを使って、渡されたスギ板をこがして、たわしで焦げ目を落とし、スギの木目をきれいに仕上げていました。最後は、仕上がったスギ板に、木の実や枝を張り付けて、子どもたちは一生懸命に取り組んでいました。

夕食後、いよいよキャンプファイヤーの始まりです。係の子の進行で、キャンプファイヤーに火が点火され、クイズやゲーム、フォークダンスなどたくさんの企画をみんなで楽しむことができました。ただ、途中で雷鳴がし始めたので、予定の時間より早めに切り上げることになったのが残念でした。

2日目は、6時に起床して朝食後、施設の炊事場に移動して、火おこし・焚火体験を行いました。当日は、朝から天候に恵まれず、途中で雨が降るなどして、たきぎもしけっていたため火がつきにくく、火おこしができるまで予定より時間がかかりました。ファイヤースターターで火をつける体験では、ほとんどの児童が初めての体験であったため苦戦していました。その後、学校で自分たちが栽培したジャガイモを持ち寄り、銀紙で包んで焼き芋にし、じゃがバターにして食べました。

その後も天候が不安定だったため、予定していたディスクゴルフは中止して、体育館でドッジボールをして楽しみました。

その後、施設内で昼食のカレーライスを食べ、退所式終了後、保々小学校へ帰りました。

今回の自然教室では、『自ら考え、自ら行動できる自分をつくる』という目標を掲げ、2日間の活動を行いました。多くの児童は、この目標を意識して行動できたと思います。その反面、時間をマネジメントする力（5分前行動など）や、見通しをもって要領よく仕事をこなすことには課題があることが見えてきました。今後、このような課題を日常の学校生活を通して、一人ひとりの児童に意識させながら、学年運営を進めていきたいと思っています。来年は、6年生で保々小学校を背負って立つ立場になります。今後の活躍と成長を楽しみにして、見守っていききたいと思います。

【自然教室中に私が感動したこと】

私は、1日目のオリエンテーリングの中で、CP2ポイントで子どもたちにクイズをだしていました。問題は、『校長先生の好きなスポーツは何でしょう』でした。答えは、野球だったのですが、ほとんどの児童は私が野球好きであることを知っていました。不思議に思い、児童にたずねると、私が3年前に保々小学校に赴任した挨拶の中で、そのことを話したそうです。この子どもたちは、しっかりと私の話を聞いてくれて、今も記憶にとどめていることに感動を覚えました。人に関心を示して、その人の話をしっかりと聞くことは仲間づくりの基本です。この基本ができていくことにすごく感心するとともに、うれしく思いました。